

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	江尻桂子 (えじりけいこ) 清水由紀 (しみずゆき)	所属	茨城キリスト教大学 (江尻) 埼玉大学 (清水)
研究集会等名称	社団法人日本心理学会 発達心理学基礎研究検討会〔通称：土曜研〕		
成果概要	<p>1) 参加人数 会員 60名 (うち認定心理士 5名) 非会員 20名 (うち認定心理士 5名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等</p> <p>①目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本研究では、発達心理学研究の中でも、特に実証的研究、データに基づく実験・観察・調査研究に重点をおき、これらに従事する第一線の若手研究者をゲストにむかえた。そして最新の研究成果発表をもとに、参加者を交えた活発な議論を行った。 ・ホームページを開設し、これまでの開催概要および今後の開催予定について掲示している。 http://doyou.kt.fc2.com/index.html <p>②成果：2010年度は4回の研究会を開催した。</p> <p>第18回 2010年9月11日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中垣 啓 (早稲田大学) 「創造的な認知発達研究のためのプロレゴメナ」 <p>第19回 2010年12月25日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 横地 早和子 (東京大学) 「アーティストの創造活動を支えるもの—現代アーティストの創造的熟達と創作プロセス—」 ・ 岸本 健 (聖心女子大学) 「なぜ幼児は指さしをするのか?—幼児の指さしと後の言語コミュニケーションとの関連性から—」 <p>第20回 2011年6月25日 (地震のため3月13日から6月25日に延期)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大神田 麻子 (神戸大学) 「就学前児の反応バイアス—子どもは「はい/いいえ」質問になぜ「はい」と答えるのか?—」 ・ 富田 昌平 (中国学園大学) 「幼児期の想像世界の認識におけるゆらぎと発達」 <p>③将来の計画</p> <p>これまでと同様、年に2~4回の頻度で定期的に研究会を開催してゆく。研究会の開催スタイルとしては新進気鋭の研究者をゲストスピーカーに迎え、最新の研究成果について発表いただき、これをもとに参加者らで議論を行ってゆく。研究会の将来目標は次の二点である。①異なる研究機関に所属する研究者同士の交流の増進を図るとともに、研究者間・研究機関間のネットワーク形成および学術情報の共有の場を提供する。②研究会活動を通して、日本の発達心理学研究における若手研究者の支援と交流の活性化を目指す。</p>		